

補正・新年度予算について質疑

「消費税増税の影響は厳しく、対応が必要」

当局答并

2月24日から3月20日まで、25日間の会期で厚木市議会2月定例会が開かれています。

24、25日の本会議では新年度予算を含む27議案が上程され、新年度に向けた市長施政方針演説がありました。

2日間の主な議案審議の概要をお知らせします。

【2月24日】

平成25年度一般会計補正予算
(第8号)

国の経済対策による事業（中学校の校舎・体育館改修）、事務事業の実績や入札による差額が計上されました。補正額14億8600万円追加で、総額743億1820万円になります。

釘丸議員 臨時福祉給付金等事務費が国から1億円。給付は7億2500万円。事務費に1億円もかけるのはいかなるものか。

福祉部長 事務費の1億円の内

8割が郵送料と事務委託。
新年度は臨時福祉給付金と子育て世帯特例給付金の二つで7億2500万円にな

名称	対象者	金額
臨時福祉給付金	市民税非課税世帯（人数）	一人 10,000円 老齢基礎年金受給者は5,000円加算
子育て世帯臨時特例給付金	児童手当受給者（児童数）上記および生保以外	児童 1 人 10,000円

る。対象者は6月1日を過ぎない
と確定できない。6万件近い
事務処理となるが、国の算定べ
スに則って行う。

釘丸議員 民間の試算では、消費
税が8%になると、年収300
万円の世帯では消費税負担額は
5万7千円強も増加する。

職員給与費の削減

釘丸議員 地域手当の削減について昨年も1年間延長した。「本市の財政状況を踏まえて、さらに1年間延長する」とのことだが、どういう状況と考えているか。また、職員組合との話し合いはどうだったのか。

総務部長 昨年11月14日から今年1月4日まで、5回の交渉をした。早く戻してほしいとの意見はあったが、やむなしとの合意書を交わした。

財務部長 税収の伸びが減る一方で、経常経費が伸びている。歳入では市税について若干の増額を見込んでいるが、歳出で消費税増税で高くなる。やはり財政は厳しい。

【2月25日】

平成26年度一般会計予算

平成26年度の厚木市の一般会計予算は754億8千万円で、平成25年度よりも17億円（2・3%）増えています。

釘丸議員 法人市民税の一部国
税化に伴う影響について、不交
付団体である厚木市はどうか。
財務部長 平成24年度で試算する

と、6億7000万円であり、市にとって非常に大きなものである。国に対して、もとに戻すよう要望等をしている。現在の状況では、不交付団体は維持できぬ。

釘丸議員 消費税増税に係る市のプラスとマイナスの要素をどう考えるか。

財務部長 消費税が8%になると、地方消費税交付金が増加する。平成26年度で6億円を見込んでいる。これは、子育て・医療・介護・年金など社会保障に充当していく。

マイナス面では、工事発注、業務委託、物件費など3%を新たに支出することになる。消費税が10%ともなると影響は厳しく、しっかり対応していく必要がある。

釘丸議員 企業誘致での固定資産
税減免はどうか。また、雇用奨
励金は。

財務部長 企業立地では平成21年度の適用の軽減がなくなる分が8000万円、26年度の減免が4000万円なので、差し引き4000万円のプラスになる。

産業振興部長 雇用奨励金は、継続して1年雇用が条件であり、26年度は3社35人となる。

釘丸議員 昨年から公契約条例が施行された。実績と新年度の見込みはどうか。また、雇用環境への影響はどうか。

総務部長 工事が2件、委託が19件の計21件あった。26年度は工事4件を見込んでいる。事業者は3月アンケート実施する予定。各業界の労働環境の向上に寄与していると自負している。

今週の活動から

2月24日アミュー
あつぎ（旧パルコ）
を見学。4月26日
オープンに向け急ピッ
チで改装工事が進め
られています。（上：
釘丸久子議員）



23日、南毛利
公民館まつり
参加。芸能発
表や文化発表
(書道・生け
花など)、お
茶会、バザー、
山香代子議員)

2月 議会今後の予定

3月 3日 (月) 本会議 (一般質問)
3月 4日 (火) 本会議 (一般質問)
3月 5日 (水) 本会議 (一般質問)
3月 7日 (金) 総務企画常任委員会
3月10日 (月) 市民福祉常任委員会
3月11日 (火) 環境教育常任委員会
3月12日 (水) 都市経済常任委員会
3月20日 (木) 議会運営委・本会議

9時開会です。